



学校教育目標 かしく たくましく 心豊かな 児童の育成
目指す児童像 瞳・笑顔・汗・会話 きらきら輝く 鈴谷の子

令和6年9月30日号
家庭数配付

鈴谷小だより



令和6年度 第6号

さいたま市立鈴谷小学校 ☎852-5675

鈴谷小Webページアドレス <https://suzuya-e.saitama-city.ed.jp/>

みんなが集う学校

校長 中田 清人

私の手元に、すずやっ子サポーターズの皆さんがおつくりになった「すずや祭」に係るチラシと10月に実施予定の「防災サバイバル」の実施計画書があります。「すずや祭」のチラシは、素敵なイラストや個性的なロゴを使ってデザインされ、これがプロの手によるものであること、楽しんでつくられたであろうことが読み取れます。また、「防災サバイバル」の実施計画書もすでにver.4（バージョン4）との表記があり、つくられた方の並々ならぬ思いが伝わってきます。

私は、かねてから、鈴谷小学校の地域や保護者の皆様の中には、様々な才能や技術をお持ちの人材があり、これを子ども達のために活用できないかと考えてきました。すでに授業での学習支援や学校行事、読み聞かせ、チャレンジスクールなどでは、多くの方にご活躍いただいています。また、今年のすずや祭では、様々な場面に合うよう校歌を編曲してくださった方がいらっしゃいました。さらに、この学校だよりに掲載させていただいている「落語家風」の校長のイラストも保護者の方の手による消しゴムハンコで作成したものです。

この度の「すずや祭」や「防災サバイバル」でも、多くの方にボランティアやスタッフとして手を挙げていただいたと伺っております。その中には、保護者だけでなく、中学生や大学生、地域の飲食店、任意団体も含まれているそうです。そのいずれもが、子ども達のために主体的に手を挙げてくださっていることに感謝申し上げます。「いやいや、校長に礼を言われるまでもないよ」という声も聞こえてきそうですが、子ども達のために、ご自身も楽しみながら参加していただいていることを純粋にうれしく思います。そして、こうした営みを通して皆様同士の交流や親交がさらに深まるといいなと期待しています。仲よくなった大人同士が、さらに協力したり工夫したりして子ども達を育てていく。想像するだけでワクワクしませんか。

昨年度の学校だより最終号で私は次のように述べました。

「みんなが一体となれるような営みを学校でも行っていきたいと考えています。昨年度の学校だより4月号に書いたように、目標達成に向け、『この指とまれ』と差し出した指にみんなが集う、そんな学校づくりを引き続き目指します。(令和5年度学校だより3月号「なぜ走るのか」より)」

この思いが、今回の「防災サバイバル」や「すずや祭」を通して、子ども達をとりまく大人の心の結びつきの具体的な形として実現しそうです。ICTの発達やSNSの普及、コロナ禍等を経て、人間同士のコミュニケーションの在り方も大きく変わりましたが、直接的にかかわり合うこと、協働することのよさはこれからもずっと普遍的な価値を備え続けるであろうと思います。また、こうした姿を、大人が子ども達に見せることも大変価値のある教育と言えると思います。

この度のすずやっ子サポーターズ主催の各種イベントが大成功となることを祈念するとともに、今後、あくまで皆様の主体的な営みとして、長年にわたり持続可能な形で引き継がれていかれることをお願い申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

